

広報119

2007秋号 vol.4

地域の防災はみんなの力で!

第1回幼年消防大会

今後の行事予定

- | | |
|----------|----------------------------------|
| 11月4日 | 災害救護研修会（一関西消防署、一関東消防署会場） |
| 11月9～15日 | 秋季火災予防運動
『火は見てる あなたが離れる その時を』 |
| 11月10日 | 防火ポスター表彰式（一関サティ） |
| 11月11日 | 災害救護研修会（一関南消防署、一関北消防署会場） |
| 11月18日 | 岩手県消防協会一関地区支部連合演習（藤沢町） |
| 1月26日 | 文化財防火デー |
| 2月2日 | 第5回危険物取扱者試験 |
| 2月下旬 | 優良自主防災組織等表彰式 |
| 3月1～7日 | 春季火災予防運動 |
| 3月中旬 | 一関市消防出初式 |



一関市消防本部
URL <http://www.fdr.jp/>

避難所生活を模擬体験 (サバイバルキャンプ)

避難所での生活を模擬体験し、避難所生活における必要な知識や備えを身につけることを目的に7月27・28日の両日、川崎町体育センターで避難所生活体験(サバイバルキャンプ)を開催しました。

当日は、建物が倒壊しライフラインが寸断されたという想定で、一関市、平泉町及び藤沢町の自主防災組織員、婦人消防協力隊員、少年消防クラブ員など92人が参加し避難所生活を体験しました。

参加者は7班に分かれ、班長の選出や班内の役割分担を決め、班長などによる運営委員会を組織し、避難所で生活する上での約束事(ルール)を定め、避難所生活をスタートしました。



運営委員会を開催。1日目の訓練内容を検討。

運営委員を中心に生活場所の確保、炊き出し訓練やテント設営を行なった後、救急訓練や災害図上訓練などの研修も行われました。

実際の災害では被災したことによるストレスや様々な年代の人達との集団生活、生活環境の変化などによるストレスが生じます。

また、市職員や消防職員は災害に関する情報収集や被災者の救助などのため避難所運営に十分な対応ができない場合が想定されます。

避難所では、自助・共助の理念の下、避難者自らが避難所運営をすることが重要です。

災害は無い方がいいのですが、いざという時に備え次回このようなサバイバルキャンプに参加してみたいかがで



みんなでそろっての朝食。
避難所生活ではレトルト食品が強い味方。



防火宣言をする幼年消防クラブ員の代表

第1回幼年消防大会開催

10月4日(木)に一関文化センターを会場に第1回幼年消防大会を開催しました。

大会には、一関市、平泉町及び藤沢町の26団体の幼年消防クラブから841名のクラブ員と多くの保護者が参加しました。

クラブ員達は、消防署員による梯子車、救助工作車での実演に驚きの声をあげたり、ミニ消防車へ乗車したり、煙体験や消火器による消火訓練を実際に体験するなど防火についての知識を学びました。

その後、大ホールにおいて、人形劇「こぶたのプーちゃんとこうしのミルキー」を鑑賞し交流を深めていました。最後にクラブ員全員が市長に防火の誓いをして終了しました。

緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練を一関市で開催

10月18・19日に一関市総合体育館とその周辺を会場に緊急消防援助隊の合同訓練が開催され、新潟県を含めた北海道・東北8道県の消防機関や自衛隊等の関係機関から79機関、144隊547人が参加し、大規模災害時での緊急消防援助隊の技術及び連携活動の向上を目的に実施されました。

この訓練は、10月18日(木)午前9時頃、一関市において震度7の激しい揺れを感じ、高速道路の崩壊や土砂崩れ、建物の倒壊及び火災が多発し、多数の死傷者が発生したという想定で、参集訓練、図上訓練、野営訓練、救出救助訓練などが行われました。

また、消防団や自主防災組織、多くの住民の皆さんが参観し、合同訓練での活動に盛んな拍手を送っていました。



自主防災組織活動事例紹介
一関20区自治会防災部
提供：岩手日日新聞社

自主防災組織結成状況 (平成19年10月1日現在)

市町村	地域	組織数	結成率
一関市	一関	44	50.76
	花泉	7	100.00
	大東	18	12.96
	千厩	30	84.16
	東山	27	95.62
	室根	6	27.83
平泉	川崎	23	90.26
	平泉	8	24.91
藤沢		37	79.90

結成率＝世帯数／全世帯数

さる6月10日に大規模な地震を想定し、総合防災訓練を実施しました。
避難所に想定した利根ジョテック(株)には、参加者約120人が車を使わず、徒歩や自転車を利用して避難・集合する集結訓練、バケツリレー及び消火器での消火訓練、倒壊家屋からの救出訓練、負傷者の搬送訓練、炊き出し訓練を実施しました。

消防長賞



一関市立
千厩小学校 4 年
皆上 亜里沙 さん



一関市立
門崎小学校 3 年
千葉 孟 さん

市長賞



一関市立
猿沢小学校 4 年
小野寺 悠斗 さん

防火ポスター入賞者発表

一関市消防本部火災予防運動の一環として、一関市・平泉町・藤沢町内の各小学校から、防火ポスターを募集し、1004点の応募がありました

消防団長賞



一関市立
小梨小学校 4 年
遠藤 桜 さん

優秀賞

10点

- 一関市立南小学校 3 年 菅 原 光 さん
- 一関市立花泉小学校 3 年 高 橋 朋 さん
- 一関市立摺沢小学校 3 年 宮 澤 優 人 さん
- 一関市立興田小学校 4 年 及 川 智 紀 さん
- 一関市立猿沢小学校 4 年 小野寺 美 紀 さん
- 一関市立清田小学校 3 年 渡 邊 彩 果 さん
- 一関市立浜横沢小学校 4 年 加 藤 怜 さん
- 一関市立浜横沢小学校 4 年 千 葉 美 穂 さん
- 一関市立折壁小学校 4 年 小 山 早 紀 さん
- 一関市立薄衣小学校 3 年 小野寺 幸 子 さん

佳作入賞者の発表については入賞者が多いため省略させていただきます。
また、入賞作品及び応募作品は一関サティに展示いたします。(11/8～14)

平成19年度秋季全国火災予防運動

平成19年度秋季全国火災予防運動が11月9日～15日まで「火は見える あなたが離れるその時を」を統一標語に全国一斉に行われます。

一関市消防本部では次に掲げる三つの項目を重点に運動を展開しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

一 住宅防火対策の推進

・既存住宅の住宅用火災警報器の設置義務は平成20年6月から適用となります。早めに取付けしましょう。

・高齢者等の災害時要援護者の安全対策を推進します。

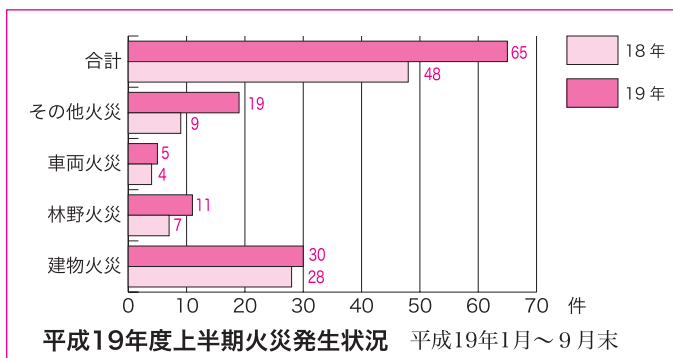
・暖房器具の安全使用と安全な灯油用容器を使用しましょう。

二 特定防火対象物における防火安全対策の推進

三 震災時における出火防止対策等の推進

ご注意

消防署から来しましたなどと言って消火器や住宅用火災警報器を販売する事例が増えていきますので注意して下さい。



一関市消防本部管轄区域内の総出火件数は65件でした。内訳は、建物火災30件、林野火災11件、車両火災5件、その他火災19件でした。
前年同期と比較すると建物火災2件、林野火災4件、車両火災1件、その他火災10件増加し、総出火件数で前年同期の48件より17件の増加でした。

子供の命を守るために

県立磐井病院 救急医療科長 片山 貴 晶



今回は、よくある乳幼児の誤飲・誤食の対処法のお話です。

日本では世界中を見ても乳幼児の誤飲・誤食の発生が異常に高く、全く減少しません。これは畳や床のような低位置に生活用品を置く独特の習慣が原因と言われています。乳幼児では単品が多く、最も多いのがタバコです。乳幼児の中毒量は約1本(吸い殻3本)と言われています。ただしこれは吐かずに完食した場合です。かじったくらいでは処置の必要はありません。

もし吐かずに大量に食べてしまった可能性がある場合には、何も飲まず、食べさせずに病院で受診して下さい。それ以外は飲水させずに2時間も様子を見ていれば十分です。ただし吸い殻が浸されたような液体を飲んでしまった場合は受診させてください。

誤飲・誤食ではできるだけ正確に飲んだ時刻、量や方法(飲んだのか、なめただけなのかなど)を伝えて下さい。これは治療に際して非常に重要です。

次に多いのが医薬品、洗剤などの家庭用品や文具です。薬の量の間違いや、家族の薬を誤飲してしまった場合、治療が必要かどうかは種類や量にもよるので受診させる前に必ず病院に問い合わせして下さい。また冬には灯油の誤飲も見られます。灯油は手についたものをなめた以外は必ず受診させて下さい。絶対に吐かせてはいけません。

食器用洗剤、石けん、シャンプーンや芳香剤などは乳幼児

の誤飲程度では重篤な中毒は起こりませんので、そのまま様子を見て下さい。胃の刺激を和らげるため、200cc以下の牛乳を飲ませて構いません。文房具では鉛筆、絵の具、糊や消しゴムもほぼ無毒です。中毒の心配はありません。

今回はボタン電池などの異物を飲み込んでしまったときの対処法のお話です。

緊急地震速報の運用が開始されました。

平成19年10月1日(月)、緊急地震速報の運用が開始されました。

これは、地震の最初の揺れを感じて最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)の地域の名前と何秒後に地震が来るかを知らせ、被害を少なくしようとするものです。

速報を知ったら、使用中の火を消せない場合は、机の下に入るなど身の安全をはかり、落ち着いたら火の始末をして下さい。

心臓や呼吸が止まってしまったら...

これまでの救命処置に比べ、胸骨圧迫(心臓マッサージ)の意識が強調されました。胸骨圧迫を絶え間なく行うことが重要です。

1 意識の確認をする

軽く肩をたたき、「大丈夫ですか?」と声をかけます。



2 大声で人を呼ぶ、119番へ通報する、AEDを持ってきてもらう

意識がないとき、緊急事態がおきているので「誰か来て」と大声で協力者を集めます。



3 気道を確保して呼吸の有無を見る

自分の顔を相手の口と鼻に近づけ、同時に胸の動きを見て、呼吸しているかどうかを確認します。



4 人口呼吸を行う

人口呼吸は2回づつ行って、1秒かけてゆっくり息を吹き込みます。



5 胸骨圧迫を行う

2回の人口呼吸のあと、1分間に100回の速さで「1、2、3、…」と数えながら30回胸骨圧迫(図参照)を行います。



6 胸骨圧迫30回、人口呼吸2回を繰り返す

胸骨圧迫30回、人口呼吸2回を1サイクルとして、2分間に5サイクル行います。

